昭和30年6月23日　第三種郵便物認可
磐城日日新聞
夕刊（除月曜）　第1361号（三）

夕刊
磐城日日
発行所　磐城日日新聞社
福島県磐城市菱廼一五一
電話387番
編集兼発行人　村上盛

常磐市の進出に悩む糞尿処理問題

後十日で汲取中止か？

各都市共頭痛の種である糞尿処理問題は磐城市でも今表面化しようとし、関係者をあわてさせている。これは最近農家が多く金肥を使うようになりあまり下肥を喜こばぬ事となったのに加い、常磐市からは毎日市のマークをつけたタンク車が磐城市内に進出して農家の貯溜槽を充満させて了うためである。然も農家は今肥料の入らない時季だ。この糞尿飽和状態から脱却出来るのは秋の麦蒔き時となる。磐城市内の「たけや清掃部」他二つの業者は毎日採算割れの遠方まで運搬し、処理に苦心しているがあと十日も過ぎればどの溜槽も一つぱいとなつてあけ場所がなくなり一時休業の止むない状態となつている。

業者の休業はいいとしても困るのは一般家庭である。常磐市を相手に下肥えの縄張り争いをするわけにもゆかず、海に棄てるには三千数百万円の設備費を必要とするし勿論急の間に合わない。

されば迚も各家庭で自衛する事も出来ない事なので全く処置なしで今や大きな社会問題化せんとしている。

常磐市では糞尿処理に困り現在磐城市の旧渡辺、泉、玉川地区の各所に一個二〇〇石入りの溜槽を市費で設置し、無償で連日タンク自動車で搬出しているのである。

現在は無償だが繁忙期には、トラック一台（二二石入）四〇〇円を徴収する事になつている。

然して磐城市内の業者は各家庭から一本（約五斗）二〇円の汲取料をとり、農家に三〇円で渡しているようである。

これについて磐城市役所橋本衛生課長は次ぎのように語つている。

海上投棄設備費

三千四百六十万円

磐城市の人口を五万二千と見ると年間約十万四千六百二十五石の糞尿が出る。これに対して田畑の耕地二千町歩の中糞尿を主とする畑地約五四〇町歩でこれに要する人糞肥料は九万七三八石であるからその差一万四〇〇石の糞尿が残る事となるが、これは各家庭の便所と農家の肥溜を全部空つぽにした時の計算であるから普通はとんとんであつて、別に餘つて困るような事にはならない筈だ。

問題に常磐市の進出にあるがこれとて泉方面の特定の農家との契約であつて全般的でなく、剣方面ではもつと欲しいとの声もあるので業者が遠方まで運搬の労を惜しまないなら、汲取中止等という最悪の事態に追込まれるような事わないと考いる。

然し、この問題は真剣に考慮せねばならぬ事であり、将来は当然市の直営として行う事になろうし、その措置を明年度予算で確立したいと思つている。

この糞尿処理対策として恒久的施設をするとすれば市営として次ぎの二案が考いられる。

一、農家還元

糞尿全部を肥料として農家に還元する場合は農業地帯の各地に溜槽を必要とし、これに約九六九万円を要する見込みである。

二、海上投棄

糞尿の仕末に困つてこれを海に捨てるとすれば、専用船の発着岸壁を造らねばならず、この為には実に三千四百五十八万八千円を要する事となるので容易な事ではない。

従つて市としては第二案の農家還元の貯溜槽を設備し、それで尚解決出来得ない場合は第二案の海上投棄という事になるであろう。

書◇寄　磐城市吏員の整理について　①

柏屋道人

去る六月の議会に於て職員の退職給与金の引下げ停年制（満五十五才）の実施を決議せることは国家の緊縮財政方針に則り、地方自治団体も町村合併の本旨による経費の節ゲンからして時代の趨勢と要請により今日の財政難時代では、止むを得ざる措置とも考えられるも、時期に於てその取扱方法が誤りであつたかの感がある。

停年制を設けた市町村は福島県内ではこう矢でなかろうかと思う又地方自治団体では僅五十五才には異論がある。所謂国家公務員と同様に総べてが待遇されていない。勝手に条例を設けて適当に取扱つている現状である。

磐城市職員定数三百余名である。これは必ずしも定員だけ雇傭しなければならぬ訳でない。仕事の量の変化で予算上定員数だけの人件費を計上しているが、これは事務の増加を考慮して雇傭するよう弾力性を持たしめているのである。

出来得る限り事務の簡素化を図り経費を節ゲンすることが第一の目的である。

今回の整理は高給者を退職せしめこれに代るに低給者即ち若い者を入れ補充するのが目的だが、その差額が節約出来るとの理論は一応うなずけるが、事務は職員の能率如何で簡素化によつて増進する二人分の仕事も一人で出来る。合併後に於て各市町村とも事務の整理統合に時間を費し、頭を悩まして今日に至りたるも、合併当時そのままの人員では人件費の節約は不可能である。

然るに磐城市に於ては合併後十人以上の新採用をしていることは目的は奈辺にあるかはわからぬが強いて言うならばこの度の老年組を勇退せしめることを企図して補充を早手廻しに決行せる遠大な計画なるや、かかる措置は不足人員補充の性質からして矛盾も甚だしいと言わざるを得ない。

停年制の問題も如何に優遇退職金を決議しても、六月に決議して八月中に実施、勇退者を期限付にて退職を強要せしむることは、被退職者に言わせれば少しの余裕を与うべきが常識でなかつたか、僅五十五才の年令では徒食する年でもない。社会的且つ経済的に今後の身の振り方即ち方針を樹てなければならぬ。少くとも三十一年一月からでも実施する仏心がなかつたか市当局及び議員諸公は御大尽揃いで下情に通せず且つ一俸給生活者と言う者に対して認識不足であると言う外はない。

尚今回の停年者以外の者の退職勧告の勧告文は停年者と同文である経費の節ゲンを主眼とした整理ならば十人以上の新規採用は甚だ諒解に苦しむものである。今日の停年者以外の退職勧告者は地方公務員法の身分保障排除（地方公務員二十八条第一項）何れの「号」に属するやは勧告文にては明瞭でない。

理由は附け様で恐らく九名の退職勧告は地方公務員法二十八条第一項の第一号から第四号迄の条文に故意に適合せしめ得る材料あるやも知れないが、

高校野球

福島県大会を顧みて　②

小名浜高等学校野球部顧問
本田四郎

試合は今大会中屈指の好ゲームを展開。初回先頭打者松原の二ゴロ打を生かせなかつた小名高は二回今野の二ゴロ打とバンドの進ろいしい名とのスクイズプレー成功して一点先馳。三回は松原又も中間を抜く三ろい打と、捕手のパスボールで一点を追加、試合の前途を有利にした。然し、今年こそは小名高に雪辱せんとする双高の気力と、幸運が結びつき、此の回一挙に三点を奪われ逆転。二本塁続当り損ねのような安打がふら〳〵と右翼前に飛んだのが双高にとつて幸運、小名高にとつては不運とも言い得るものだつた。

双高の応援団は学生は勿論、其の朝バスを貸切つて馳けつけた一般の応援団も此の時は欣喜雀躍、手の舞い足の踏むところを知らずの形容そのものの喜び様。

その後は此の一点差を挽回せんとする小名高と、これを死守せんとする双高との息詰る熱戦、小名高中山、双高太田と共に好投を続ければ、両軍共此の投手を打ち崩さんとする凄じい程の気迫は、観衆に三十度を越す猛暑をも忘れさせた。

然し小名高の必死の追撃も双高の堅ろいを抜くこと能わず、三対二で無念の涙をのむ。

敗れたりとは言え全ナイン最後まで必ず相手を倒すとの信念のもとに母校の名誉のため、郷土の応援に答えんがため、そして又長い間練習により培つた自が力を試さんがため、怯ゆることのない戦いを続けた。

運ということも確かにあるが、試合に敗れるということはやはり力の不足ということも我々は率直に認め今後の練習に更に一段の努力を加えたいと考えている。

試合終了后、小名高全ナインは徒らに勝負に拘らず、双高の今后の健斗を祈りつつ「フレー、フレー双葉」の賛辞と応援の声を与えた態度には、直しな試合振りと、立派なスポーツマンシップに双高からは勿論、会観衆からわれるやうな拍手が小名高に与えられたを、あと一歩で県代表という栄冠、取逃したが、選手達は徒らに涙を流すことなく、極めてたん〳〵と三年生は二、一年生に来年頼む。と言えば、二、一年生は必ずやりますと答えるその応答の中に本当のスポーツマンらしさを見ることが出来、スポーツの持つよさを改めて感じさせられた。

二、一年生は福島から帰るや、直ちに来年を目指しての猛練習を開始した。

最後に私は今度の野球大会に直接関係のないことであるが、運動場のことに就き述べてみたい。私は小名高の野球部の生徒達を引卒して、度々福島、若松其の他の地方に出かける機会が多かつたが、何れの地区にもそれ相応のグランド、プール、テニスコート等を有し、体育の発展に貢献している。一度目を石城地区に転ずるや、その設備の貧困さには驚かざるを得ない。幸い最近綜合グランドの建設が石城地区でも取上げられ、その実現の兆が見え始めたことは喜しいことである。然し、新聞等の報するところでは、平、内郷、常磐、それに磐城と四市が徒らに、自説のみを主張するが故に、県の補助も決定せぬとか、若しそれが事実であるとすれば全く残念なことである。地区のスポーツの興隆が、その地区の青少年の精神的、肉体的向上に大いに貢献するものであり、強いては文化の向上に大きな役割を果たすことは今更云々する迄もないことである。当局にあつて綜合グランドの建設の任に当る方には異々も自先にとらわれることなく、眼を将来に向け、心を広く持ち、他の三市の当局者と話し合い、当地区のスポーツの振興に最も良い方法を考え、早急に綜合グランドの実現に御努力せられたい。

この小文がスポーツ愛好家の御諒同を得ることが出来れば誠甚である。

末筆になり恐縮であるけれど、福島遠征中に市内の多数の方からいただいた祝電、激励文、その他の有難い御好意に此の機会に紙上より、心からのお礼を申し上げると共に、今后の御高導、御鞭撻の程をお願いしてペンをおくことにする。

中体陸上競技大會

小名浜一中堂々優勝

県中学校総合体育大会石城地区陸上競技大会は昨三十一日午前九時から好間中学校々庭に於て酷暑を征服して盛大に挙行された。参加校三四、約五〇〇の選手の肉弾相討つ壮観さであつた。

各種目の第一位のものは来る二十八日郡山に於て開催される県体育大会に出場する。然もこの大会を中体連全国大会と称して全国一斉に各県で行われるもので、NHKでは報道陣を動員して全国一〇傑を発表する事になつている。

然して昨日の大会では小名浜一中が断然他校をリードし堂々第一位の優勝をとげ、泉中が七位、江名中九位と磐城市内中学校が万丈の気焔を挙げた。

競技の成績は左の如くである。

男子の部

◎百米
1、小名浜一中村上義章（一二秒四）2、平一中3、平三中

◎四百米
1、山田中田孝子（六〇秒七）2、藤間3、勿来中

◎一、五〇〇米
1、好間中山田善太郎（四分五〇秒九）2、内郷一中3川部中

◎走巾跳
1、平三中（五米五一）2江名中3、湯本一中

◎走高跳
1、小名浜一中村山義章（一米四五cm）2、平一中3、泉中

◎砲丸投
1、川部中佐藤二六（十一米六四）2、平三中3、湯本一中

◎八〇〇米継走
1、小名浜一中（一分五〇秒八）2、江名中3、平三中

女子の部

◎百米
1、錦中木村活子（一四秒一）2、植田中3、小名浜一中

◎走巾跳
1、植田中樋田春子（四米四〇）2、四倉中、3、錦

◎走高跳
1、小名浜一中渡辺君子（一米三五）2、平一中3好間中

◎砲丸投
1、錦中国井陽子（七米五五）2、藤間中3、湯本二中

◎四百米継走
1、錦2、植田3、小名浜一中

優勝校

◎男子
一位 小名浜一中 一五点
二位 平三中 一〇点
三位 江名中 二点

◎女子
一位 錦 中 一〇、六点
二位 植田中 一八、六点

綜合優勝
一位 小名浜一中 四〇点
二位 植田中 二七、六点
三位 錦中 二四、六点
四位 平三中 一三点
五位 好間中 一七点

八〇〇米継走で見事一位となつた小名浜一中は、去る二十七年福島市で開催された国体大会試合に於て、この八百米継走は正選手一名欠場によつて惜しくも若松一中、白河中のために僅かの差で破れ第三位となつたが、今度の大会に於て巣してその復讐なるか、小名浜一中の健斗が切に期待されている。

9 テンテマリ　10 三つの景色　11 さくら　12 都の春　13 山の上　14 夕顔　15 雪と雲　16 かね ケ岬　17 ひぐらし　18 茶の湯音頭　19 春の曲　20 からかさ舞台

杉眞志会温習会

小野斗美代さん　お琴の名取披露

磐城市杉眞志会は明二日午後六時より小名浜公民館ホールに於て恒例の納リョウ温習会を行うことになつた。

同日は温習会の席上市内古滝小野栄左エ門さん三女斗美代さんの名取披露を行うことになり「茶の湯音頭」の曲を演奏することになり杉斗志の名取りとして六年間の研修の実を結ぶことになつた。

同会は温習会を目前に、平市の佐藤杉眞志先生の指導に一カ月前より猛練習を行つている。

なお、当日は六段外二〇曲が演奏され「松」「からかさ舞台」の舞踊も披露される。

プログラムは左の如くである。

1 新高砂　2 ロバサン　3 ほたる　4 六段　5 近江八景　6 千鳥　7 六つ　8 みだれ つり

魚菜市況

◎鮮魚
すゞき六〇〇―六五〇めばる三〇―七〇たこ一五〇―四〇〇たい七五〇―八〇〇あいなめ三〇〇そい二八〇ひらめ五〇〇

◎青果　中央市場調べ
たまご二二、五一一、七ねぎ九、五一五たまねぎ七〇―五五にんじん五〇―二〇〇ぼう一四五―九〇ばれいしょ四五―二五さつまいも一〇―七五大こん三一―一〇きゅうり四五―一〇なす一〇―七〇とまと五五―一五なたまめ九〇―七〇かぼちゃ五〇―一五うり五〇―一〇〇いたまめ九〇―一三〇ぶらむ一〇〇―六五

内科・小児科
レントゲン科
鈴木医院
定西四四番地
電話四三九番

盛況の夏季大学
磐城市八汐会主催による夏季大学は七月三十一日より三日間。第一小学校講堂で開講しているが、昨三十一日「婦人問題」現代社会と女性について講師、評論家石垣綾子先生の講義があり、五〇〇名の出席があつた、講義は女性問題だけに約三分の二が女性の聴講生であつた。

講義は二時間におよび女性の社会的に置かれている立場の過去、現在を論じ将来日本女性は社会的に如何にあるべきか、について述べ抽象的な論述であつた。

電氣工事と
照明器具
吉田電気工業所
磐城市中島通り
電話八〇八番

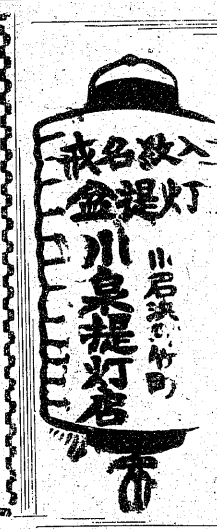
市役所ワキ通り（要埋立一五〇坪（◎大原街道沿い（宅地二〇〇坪）◎小裏（宅地八〇〇坪）◎小名高附近（宅地五〇〇坪）◎草下駅前（四〇〇坪）何れも分割可◎泉駅附近住宅一四坪借地権付二千三万（建後二年）◎電話加入権譲渡
◎求む　店舗金星座前通り又は下横町通り
共他各種御相談に應じます
たけや　土地建物取引部
県公認ロ六九号　磐城市辰巳町
電話（海水浴場角）一四五番

会津塗直結
三十年
佛壇位牌
磐城支店
山光堂
TEL311番

会津塗直結
三十年
佛壇位牌
磐城支店
山光堂
TEL311番

給排水設備　給湯設備　衛生（水洗便所）設備　糞尿浄化槽設備　保温工事　ポンプ取付工事　修理サービス
暖房冷房設備
工事設計施工
富士工業株式會社
代表取締役　増尾孝介
磐城市竹町二三
電話（磐城）七九四番
平出張所　平市中町

信用も人気も
『丸石』世界一!!
丸石の自轉車
ツノダのTU号
屋山崎
村山自轉車店
江名町北町



新盆用品
佛壇位牌
岐阜提灯の御用命を承ります
西定字市城磐
本多造花店
電話543番

求むアルバイト
男女の別を問いません
磐城市内居住の方
委細面談
磐城市字番廻り五一
磐城日日新聞社
電話二八七番

地曳網の豪快
公立学校
共済組合
海の家
鮫川誇揚会
鈴木林
◇二階建落成◇
勿来市植田海岸
植田駅より東徒歩二〇分
御連絡は若松屋旅館電話五三番へ

2日まで
新東寶の喜劇超大作
のゝき裁判
森繁、小林桂樹、堺、笠置、丹下、大河内、坊屋、曉
松竹映画
風雲日月双紙
門エ右友くるま斬り颯爽
大谷友右エ門　近衛十四郎
浅茅しのぶ　幾野道子
今日の映畫案内!!
金星座